

R. I. District2610, ROTARY CLUB OB UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2011-2012年度 RI会長 カルヤン・バネルジー
2011-2012年度 魚津RC会長 寺崎 明博



2012-6-08

第2827回 例会報告

- (1) 点鐘
- (2) ロータリーソング 「我等の生業」
- (3) ゲスト・ビジターの紹介
 - ・ゲスト 北陸電力魚津支社 大田ひとみ 様
 - ・ビジター 魚津西RC 柴垣尚一 様
 - ・マーチングバンドフェスタ実行委員会より
中川 武志 様
中村 真一郎 様
- (4) 誕生日祝 なし
- (5) マーチングフェスタ実行委員会よりホームステイのお願い
- (6) 会長挨拶 寺崎 明博会長



柴垣さん、北電の大田さん、今日はゆっくりしてください。

さて、皆さんこんにちは！6月に入りそろそろ梅雨の時期になってきましたがなかなか雨の降る気配がないようです。晴天の日でも今年は風が冷たくさわやかに感じます。今日皆さんに話があります。私達の仲間の中島久義さんが新しい船を建造中であることは皆さんも既にご存知のことと思います。そこで中島さんにお聞きしたところ、7月25日魚津港へ新しい船が来るということを聞きました。皆さん方の中にもいろいろ気にかけておられる方もいると思いますが、魚津ロータリークラブで少しばかりのお祝いをしたいと思います。お祝いといってもいろいろな意味と立場があります。クラブの中には工場や仕事を増築したり、家を新築された方もいると思います。そのような時にクラブでお祝いをせず新造船に限りお祝いが必要なのかと首を傾げる方もいると思いますが、皆さんよく考えてみて下さい。中島さんは昨年3月11日にあの大きな地震により、船も道具も全部流されて何も残らない状態でした。そのような零の状態からもう一度自分の職業である漁業をやろうという強い決意と勇気を見た時、私達は黙って見ている訳にはいきません。また中島氏のやろうとしていることは自分の職業を大切に守り社会に貢献し、奉仕をする心は実に私達の目指すロータリーの精神に合致するものです。中島氏こそロータリーアンの鏡だと思います。これは魚津クラブにとっても誇りであります。わずかではありますが私達の応援の気持を表すためにクラブより”大漁旗”を贈ることにしたいと思いますので皆さんのご賛同をお願いいたします。何分にも旗を作るのに時間が無かったものですから、私（会長）、幹事、会計、会長エレクトの4人で決めさせて頂きました。宜しくお願い致します。

- (7) 幹事報告
 - ・大漁旗購入の件
 - ・新入会員の承認について提案され、全員一致で歓迎されました。

YKKAP 支店長 三島 時男 氏

(株)MC 代表取締役社長 吉崎 秀雄 氏

- (8) 出席報告

- ・本日の出席者は30名、出席率は85.78%、欠席者は5名。メイクアップは辻 浩さん、広浜 茂貞さん、宮本 汎さん、山澤正和さんでした。
- ・2825回のメイクアップはなしで、出席率は80%で変わりなしです。
- ・先週(2826回)の出席率は100%でした。今年4回目の全員出席でした。



みなさん、出席を！お願い致します。

(9) ニコニコボックス なし

(10) 委員会報告

- ・環境委員会 谷 峰行委員長より、「来週は紫陽花園の手入れです。皆さんお集まり願います。
- ・次年度野澤良成会長より、第1回インターアクトクラブ全国大会が神戸市ポートピアホテルで開催されました。31地区から参加されました。例会終了後、次年度正副委員長会議を開催します。出席願います。

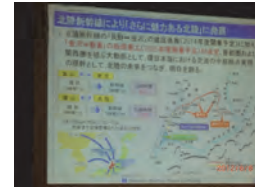
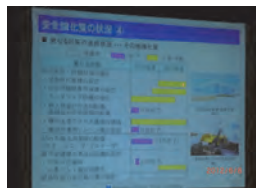
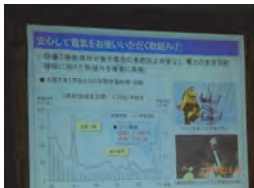
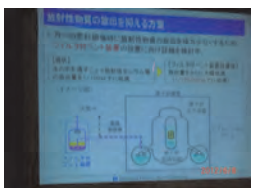
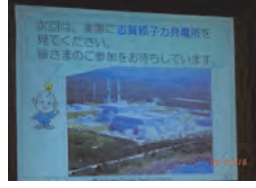
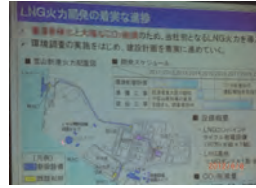
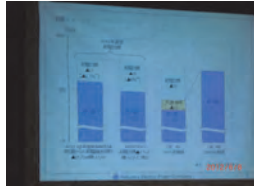
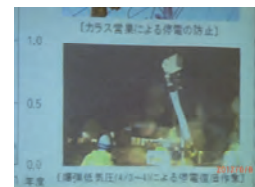
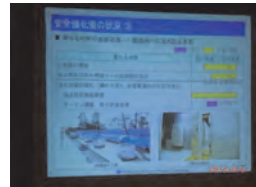
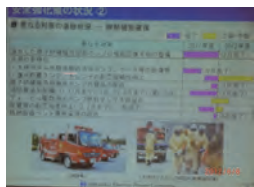


(11) 卓話 「電気事業を巡る課題について」 北陸電力(株)魚津支社 須河支店長



電力の安定供給確保に向けた需給両面での取組みについては、今夏の電力需給の想定を踏まえ、需給安定に向けた取組みやエネルギーをより一層効果的にご利用いただく取組み及び再生可能エネルギーの導入拡大を、また、原子力再稼働実現に向けた取組みとして、志賀原子力発電所の安全強化策について説明した。

さらに、事業基盤を強化し競争力を確保していくための取組みについては、全国一低廉な料金の堅持や低廉かつ安定的な電源構成、低コスト構造の維持などを説明し、「信頼される」北陸電力グループを目指す事業への理解を求めた。(須河支店長より、後日原稿を頂きました。)



・あとがき

今回の卓話は北陸電力(株)須河支社長の電気エネルギーの抱える問題について、詳細に発表されました。特に昨年3月11日の東日本大震災に際し、福島原子力発電所が甚大な被害を受け、今日の大変な状況を呈していることはご承知の通りです。人間の英知を結集し、細心の注意を払いながら事業遂行されてはいますが、所詮自然の前には脱帽し、自然に従うより方法がないのではないのでしょうか。

究極の目的を追求しつつ、現実の対応も尚一層求められています。

益々のご尽力をご期待申し上げます。